

令和8年度岩手県高等学校1・2年意識調査結果について

I 調査の概要

1 目的

各高等学校等において、入学時点及び1年生修了時点での生徒一人ひとりの生活の実態や学習等の意識を把握し、その結果を基に指導の充実を図る。また、全県的な規模で生活の実態や学習等の意識を把握することにより、明らかになった課題を教育施策に反映させ、本県の生徒の学力向上に資する。

2 内容

方法	期間	対 象	対象数
生徒質問調査 (MicrosoftFormsで実施)	令和8年4月9日(木) ～5月22日(金)	公立高等学校	第1学年6,534名 高等学校(全日制・定時制)61校／特別支援学校2校
		第1・2学年	第2学年6,565名 高等学校(全日制・定時制)61校／特別支援学校2校

II 調査の結果

3 結果

(1) いわて幸福関連指標

人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合【意識調査A-1】

高校1年生	R8	R7	高校2年生	R8	R7	目標値
そう思う	67.6%	69.4%	そう思う	62.3%	63.7%	70
どちらかといえば、そう思う	30.9%	29.3%	どちらかといえば、そう思う	35.8%	34.7%	
そう思う・どちらかといえば、そう思う	98.6%	98.7%	そう思う・どちらかといえば、そう思う	98.1%	98.4%	-0.3%

(2) 具体的推進方策指標

学校の宿題だけでなく、自主学習の取り組んでいる児童生徒の割合【意識調査D-1】

高校1年生	R8	R7	高校2年生	R8	R7	目標値
当てはまる	31.5%	31.3%	当てはまる	19.5%	21.0%	55
どちらかといえば、当てはまる	39.3%	37.8%	どちらかといえば、当てはまる	34.1%	35.0%	
当てはまる・どちらかといえば、当てはまる	70.8%	69.0%	当てはまる・どちらかといえば、当てはまる	53.6%	56.0%	-2.4%

多様な意見を認め合うことに価値を感じている児童生徒の割合【意識調査A-3】

高校1年生	R 8	R 7	高校2年生	R 8	R 7	目標値
そう思う	44.2%	43.7%	そう思う	39.2%	39.6%	90
どちらかといえば、そう思う	46.8%	46.1%	どちらかといえば、そう思う	48.2%	47.5%	
そう思う・どちらかといえば、そう思う	90.9%	89.8%	そう思う・どちらかといえば、そう思う	87.4%	87.1%	92.2%

学校や地域が行う体験活動に参加し、達成感や有用感をもった児童生徒の割合【意識調査C-2】

高校1年生	R 8	R 7	高校2年生	R 8	R 7	目標値
そう思う	63.8%	66.7%	そう思う	52.6%	52.1%	90
どちらかといえば、そう思う	31.5%	28.8%	どちらかといえば、そう思う	42.5%	42.5%	
そう思う・どちらかといえば、そう思う	95.2%	95.5%	そう思う・どちらかといえば、そう思う	95.1%	94.6%	94.5%

様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合【意識調査C-3】

高校1年生	R 8	R 7	高校2年生	R 8	R 7	目標値
当てはまる	37.9%	40.9%	当てはまる	35.2%	33.3%	86
どちらかといえば、当てはまる	47.2%	45.6%	どちらかといえば、当てはまる	49.4%	49.0%	
当てはまる・どちらかといえば、当てはまる	85.1%	86.4%	当てはまる・どちらかといえば、当てはまる	84.5%	82.3%	84.3%

話し合いの場で、互いの良さを生かしながら解決方法を決めている児童生徒の割合【意識調査C-4】

高校1年生	R 8	R 7	高校2年生	R 8	R 7	目標値
そう思う	44.7%	47.9%	そう思う	32.2%	31.6%	86
どちらかといえば、そう思う	44.7%	42.8%	どちらかといえば、そう思う	55.9%	55.2%	
そう思う・どちらかといえば、そう思う	89.3%	90.8%	そう思う・どちらかといえば、そう思う	88.1%	86.8%	88.3%

学校が楽しいと思う（学校に満足している）児童生徒の割合【意識調査C-1】

高校1年生	R 8	R 7	高校2年生	R 8	R 7	目標値
満足している	60.9%	64.3%	満足している	45.3%	45.9%	86
どちらかといえば、満足している	32.4%	28.4%	どちらかといえば、満足している	46.9%	47.1%	
満足している・どちらかといえば、満足している	93.2%	92.7%	満足している・どちらかといえば、満足している	92.2%	93.0%	92.8%

スマートフォンやインターネットを使うときは、危険に巻き込まれる可能性等があることを理解している児童生徒の割合【意識調査F-5】

高校1年生	R 8	R 7	高校2年生	R 8	R 7	目標値
理解している	90.8%	91.5%	理解している	89.7%	91.3%	100
どちらかといえば、理解している	8.6%	8.0%	どちらかといえば、理解している	9.7%	8.1%	
理解している・どちらかといえば、理解している	99.4%	99.5%	理解している・どちらかといえば、理解している	99.4%	99.4%	0.0%

自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある高校2年生の割合【意識調査B-2】

高校1年生	R 8	R 7	高校2年生	R 8	R 7	目標値
考える	22.2%	21.6%	考える	22.9%	21.7%	75
どちらかといえば、考える	47.3%	48.2%	どちらかといえば、考える	44.3%	45.2%	
考える・どちらかといえば、考える	69.5%	69.8%	考える・どちらかといえば、考える	67.2%	66.9%	0.3%

自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合【意識調査B-1】

高校1年生	R 8	R 7	高校2年生	R 8	R 7	目標値
そう思う	58.5%	57.6%	そう思う	52.5%	51.9%	52
どちらかといえば、そう思う	36.2%	36.9%	どちらかといえば、そう思う	40.2%	40.8%	
そう思う・どちらかといえば、そう思う	94.7%	94.5%	そう思う・どちらかといえば、そう思う	92.7%	92.7%	0.0%

将来希望する職業（仕事）について考えている高校2年生の割合【意識調査E-1】

高校1年生	R 8	R 7	高校2年生	R 8	R 7	目標値
考えている	41.8%	41.8%	考えている	51.9%	52.7%	55
どちらかといえば、考えている	46.3%	47.0%	どちらかといえば、考えている	42.2%	41.8%	
考えている・どちらかといえば、考えている	88.2%	88.8%	考えている・どちらかといえば、考えている	94.1%	94.5%	0.4%

岩手県内に将来働いてみたいと思う企業がある高校生の割合【意識調査E-4】

高校1年生	R 8	R 7	高校2年生	R 8	R 7	目標値
ある	18.2%	17.0%	ある	20.0%	17.2%	50

(3) 学力向上担当

英語の授業や家庭学習(宿題・課題等に関するもの)で、生成AIを活用したことがありますか。【意識調査R8新設】

高校1年生			高校2年生		
	R8	R7		R8	R7
ある	48.8%		ある	68.9%	

英語の授業や家庭学習で生成AIを活用することは、英語の話すことや書くことの学習に効果的だと思いますか。【意識調査R8新設】

高校1年生			高校2年生		
	R8	R7		R8	R7
そう思う	41.5%		そう思う	48.2%	
どちらかといえば、そう思う	48.0%		どちらかといえば、そう思う	43.9%	
そう思う・どちらかといえば、そう思う	89.6%		そう思う・どちらかといえば、そう思う	92.1%	

中学校での英語の勉強は好きでしたか。【意識調査C-20】 2年生：英語の授業は好きですか。【意識調査C-19】

高校1年生			高校2年生		
	R8	R7		R8	R7
好きだった	27.6%	25.1%	好きだ	19.8%	22.3%
どちらかといえば、好きだった	33.7%	31.0%	どちらかといえば、好きだ	32.9%	32.9%
好きだった・どちらかといえば、好きだった	61.4%	56.1%	好きだ・どちらかといえば、好きだ	52.6%	55.2%

中学校での英語の授業の内容はよく分かりましたか。【意識調査C-21】 2年生：英語の授業の内容はよく分かりますか。【意識調査C-20】

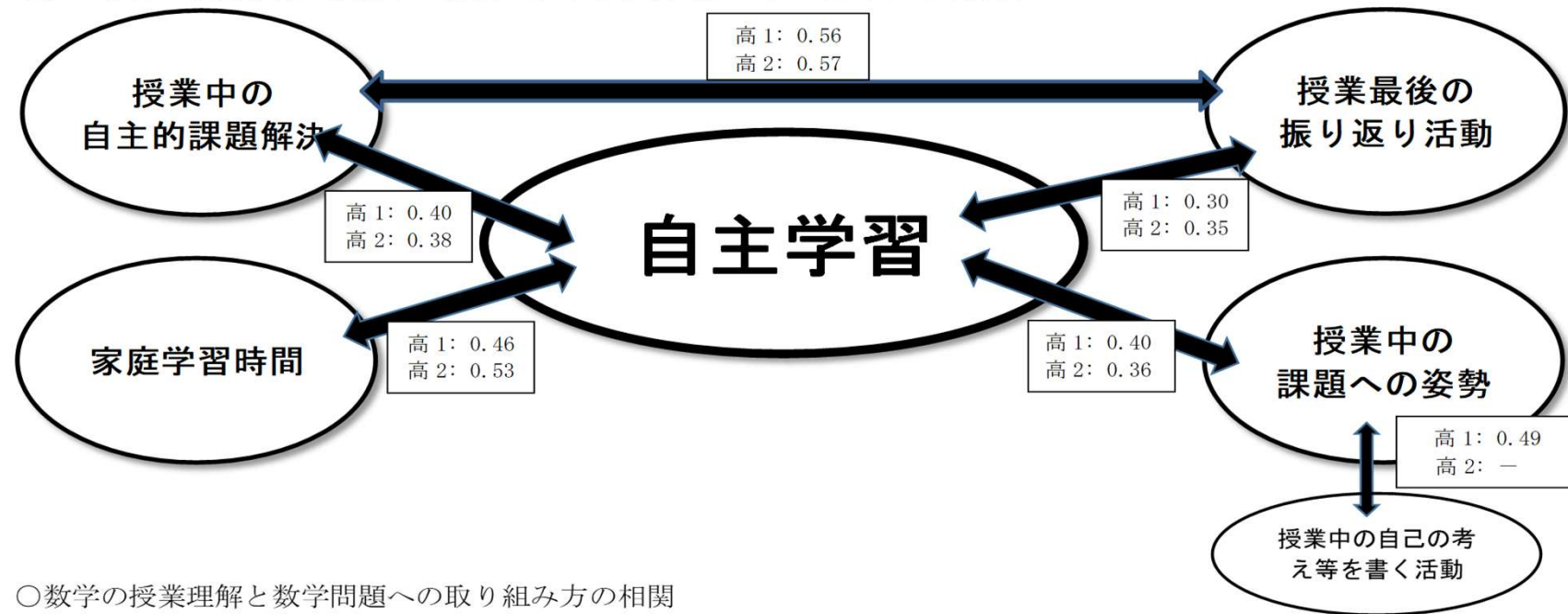
高校1年生			高校2年生		
	R8	R7		R8	R7
よく分かった	28.9%	24.7%	よく分かる	19.3%	20.4%
どちらかといえば、分かった	41.1%	38.4%	どちらかといえば、分かる	47.1%	47.4%
よく分かった・どちらかといえば、分かった	70.0%	63.1%	よく分かる・どちらかといえば、分かる	66.4%	67.7%

Ⅲ 調査結果の活用と今後の取組

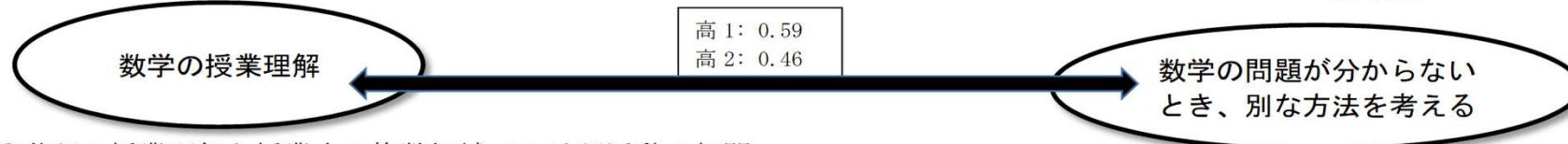
- 学校 全県及び学校ごとの集計結果を活用し、自校の課題を明確にするとともに、指導の充実や学校全体での改善に向けた参考資料として活用する。
- 県教育委員会 本調査結果から、学力向上を図るためには、授業改善の推進と、より効果的な家庭学習や自主学習につながる指導の充実が重要であることが引き続き明らかとなっている。
- このことを踏まえ、全県的な結果分析や次項の相関関係を各研修会及び指導主事による個別訪問等で活用し、児童生徒の学習状況や意識の傾向から見える成果や課題を伝え、各校における組織的な授業改善を促す。
- また、児童生徒が自らの学習状況を振り返り、主体的に学ぶ力を高めることができるよう、指導の充実に向けた助言を行う。

【相関図】

○自主学习・家庭学習・授業中の活動における相関（枠内の値はそれぞれの相関係数）※R7参考値



○数学の授業理解と数学問題への取り組み方の相関



○英語の授業理解と授業中の複数領域での言語活動の相関

